



レポートの書き方講習会 Step2~4 digest版

2018年6月28日, 7月2日, 7月3日
教育センター 桐山 聡
附属図書館 学術情報担当

1. 特に大事なこと2点

少なくとも次の2点は忘れないように。

(1) レポートを書くうえでの目標：

自分にとって望ましい反応を読み手から引き出すこと

注意)読み手には、自分自身も含まれる。

「わかりやすく書く」ことは「目標」を満たすための
「手段」でしかない。

(2) 文章の構造化

a. レポート全体の階層的な構造化

上から下に重要なことを配置する。

同じような内容は同じ章にまとめる。

b. 段落の構造化

主張 + 根拠(確からしいこと)

c. 単文の構造化

構造化により、

①伝わりやすい。

②理解されやすい。

構造の「型」が、

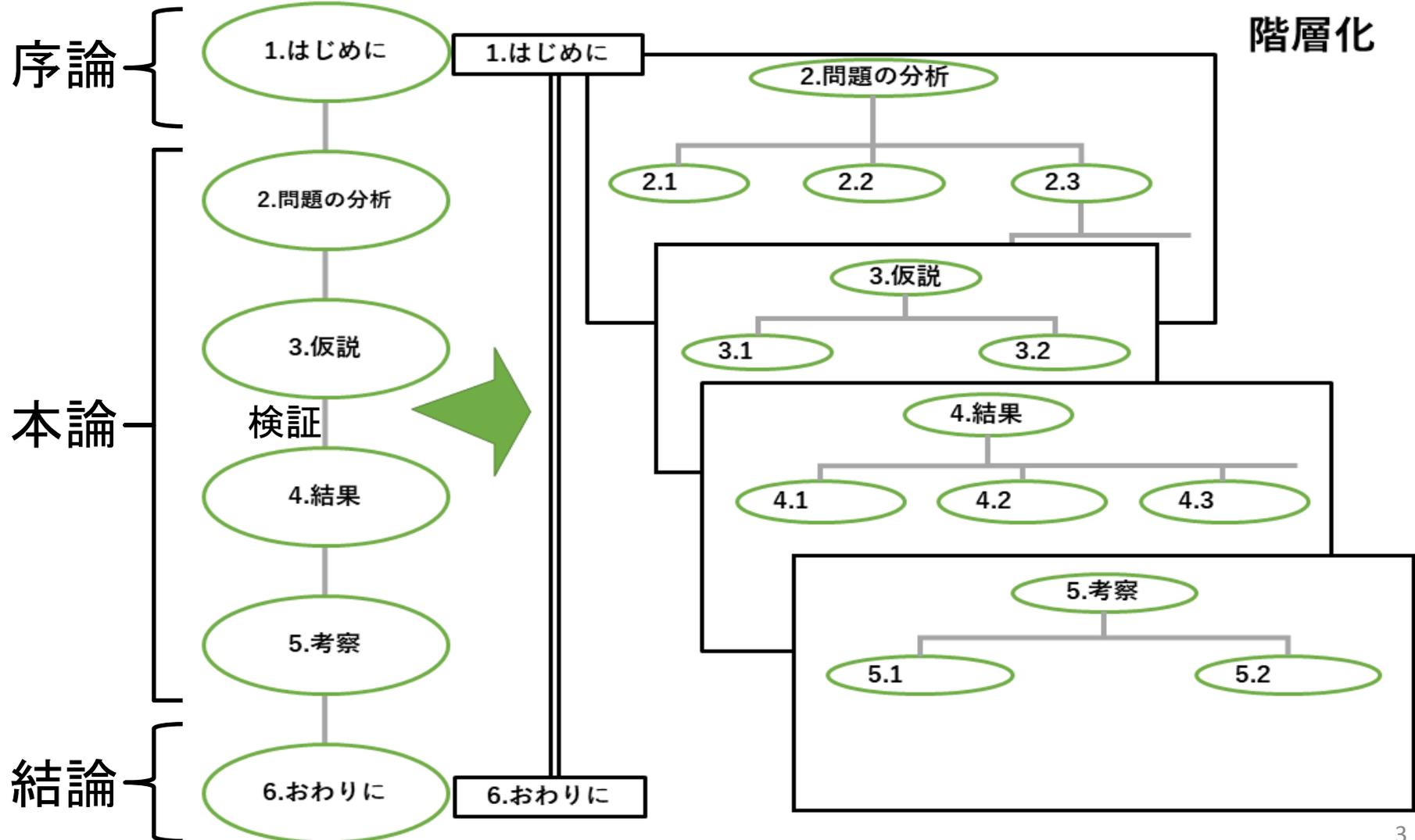
書き手と読み手の間

で共有されていれば、

さらに効果的

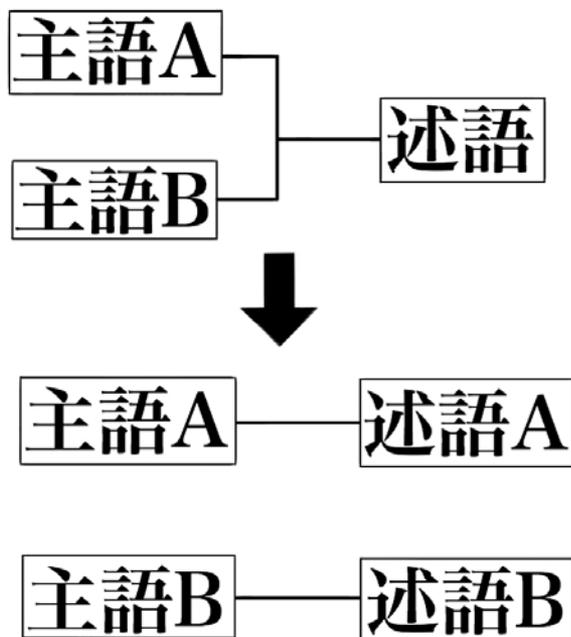
レポート全体は「階層的」に構造化する(階層化)

- ・同じ種類の内容は一カ所にまとめる。
- ・出来事が生じた順番に書くのはNG(「物語調」は禁止！)

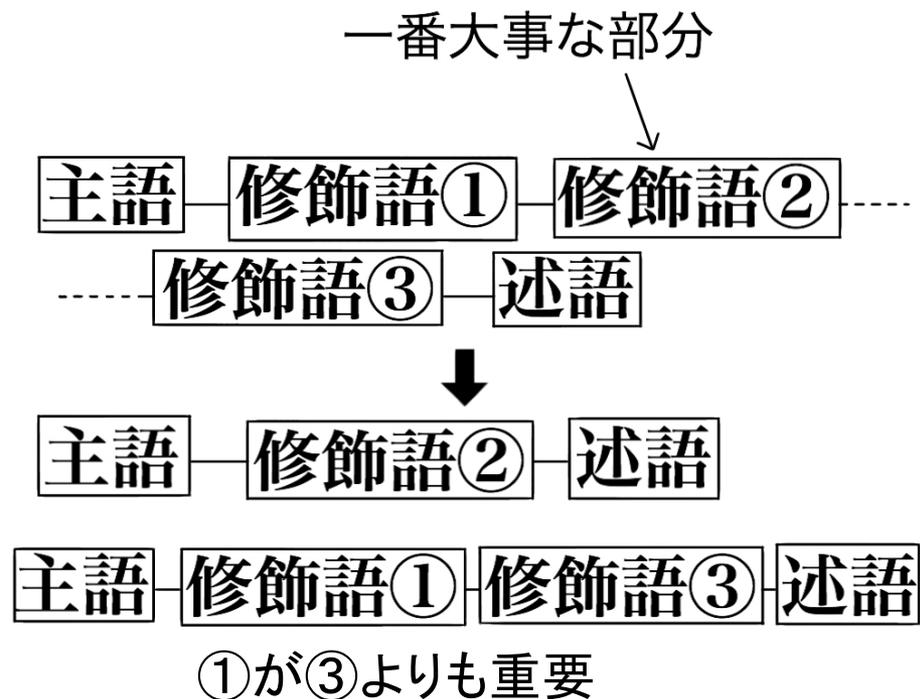


単文の構造化

主語が複数含まれる文は、「主語」と「述語」が対応するように複数の文章に分割する。



- a. 長い文章(目安は100文字以上)は、複数の文章に分割する。
- b. 重要な文章ほど、**上**に配置する。
- c. 重要なフレーズほど、**左**に配置する。



2. 「書く」ための「読み」のスキルアップ

構造化されたレポート・論文の内容把握の手順

(1) 要約を読む

目的と成果が書かれている。

(2) 目次を読む

レポート全体の階層構造を示している。

(3) 「はじめに」と「おわりに」、あるいは「序論」と「結論」を読む

要約よりも詳しく、問題、目的、目標、実施内容（調査等）、結果、成果等が書かれている。

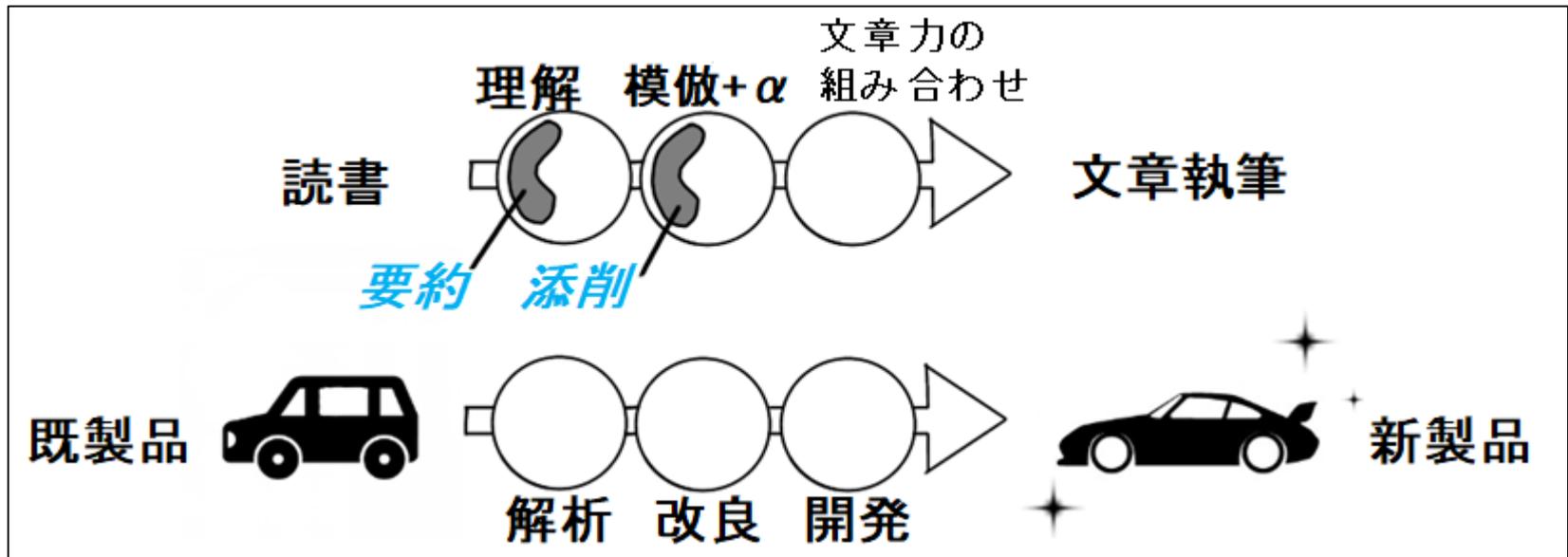
(4) 各段落の最初の一文を読む（パラグラフ・リーディング）

主張が書かれている。

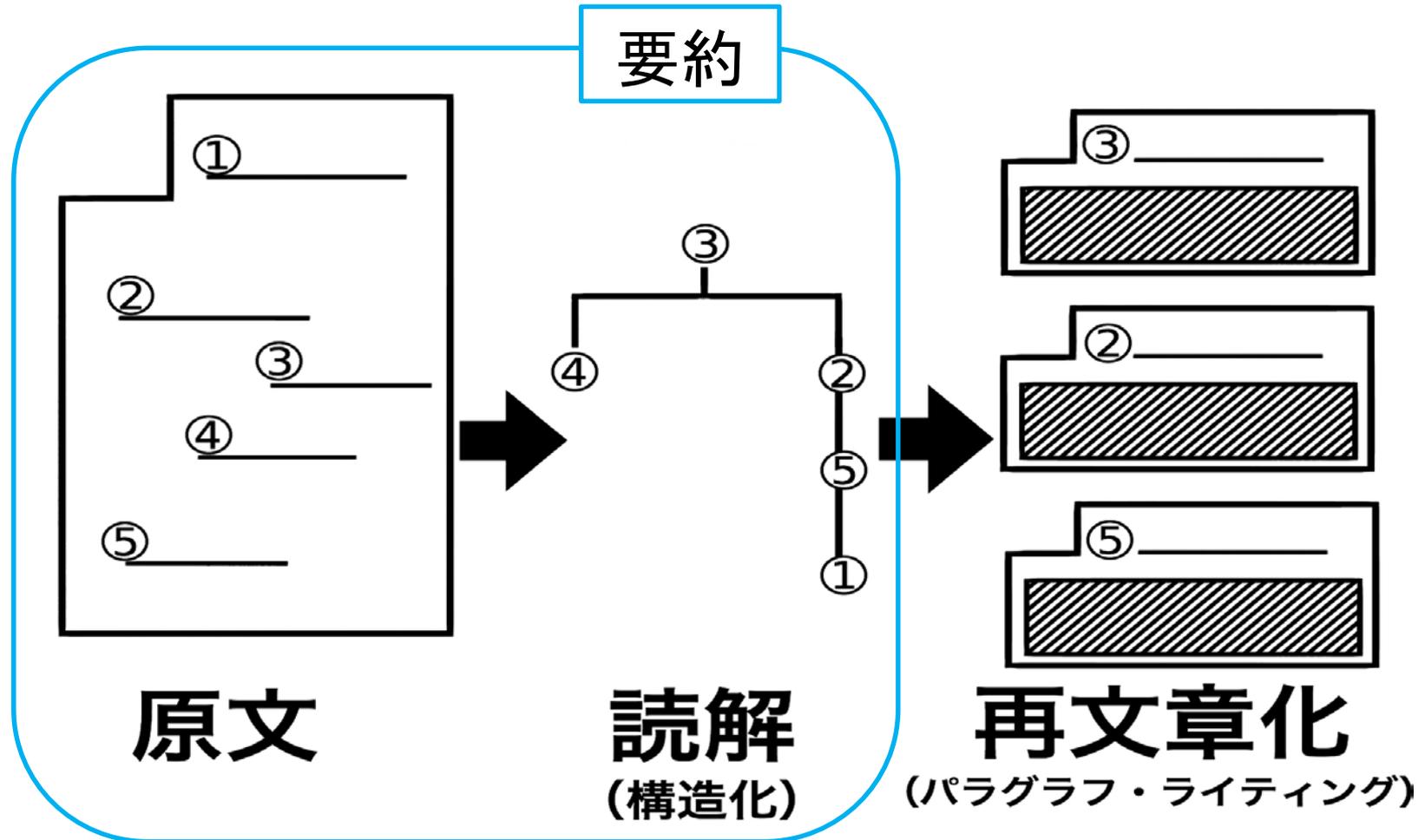
主張のみを順に読むことによって論理展開が見えてくる。

3. 「読む」と「書く」との間を埋めるためのステップ

- ・読書好きでも、いきなりは書けない。
- ・文章構成の力を向上させるためには、階層的構造化に慣れるための段階的な訓練が必要
- ・読書と執筆の間に想定される初めの2段階
論文・レポートの読解(分析)
 - 「**要約**」理解（自分の知識に変換）
 - 「**添削**」模倣, 部分的にオリジナリティを付加



要約における主張の再構造化のイメージ



備考: ①～⑤が主張, 網掛け部分が根拠をそれぞれ表している。

要約の例

調査型レポートは、要約の技術が必要。

【要約のやり方】 要約には、abstract, summary, digest 等がある

パターン1: 原文のキーフレーズを抜き出して整理する

パターン2: 原文の大意を読み取って自分自身の言葉で書く

配布資料「社説 医療改革 とても安心できない」参照

(朝日新聞(2006.6.19))

演習のルール:

- ・文中に傍線が引いてあるフレーズを, p.8に示した「構造化の簡単な考え方」に従って階層的に構造化する.
- ・構造化したフレーズに最小限の修飾をして文章としての体裁を整える.

ヒント:

原文は, 1099文字

再構造化して要約すれば, 200文字前後

文章中のフレーズの構造化

- ・問題提起は必ず上に再配置する

問題

安心して病院にかかれない



安心して病院にかかれるようにする

目的

目標

医療費を抑えよう

「社会的入院」解消の6年がかりの移行

介護保険を利用
してもらおう

糖尿病など生活
習慣病の予防

お年寄りにもっと負担してもらおう

課題

窓口での支払
いが増える

長期入院患者の食費
や光熱費も自己負担

対策

医療費を48
兆円に抑え
られる

結果

原文からの要約例： 220文字

安心して病院にかかれるようにするためには、次の3つの達成が必要である。すなわち、医療費を抑えること、「社会的入院」を6年で解消すること、介護保険を利用してもらうことである。医療費を抑えるためには、糖尿病など生活習慣病の予防と、お年寄りにもっと負担してもらうことが必要である。2つ目については、窓口での支払いを増やし、長期入院患者の食費や光熱費も自己負担してもらう。お年寄りに負担してもらうことによって、医療費が48兆円に抑えられる。

4. レポートと語彙力 (ごいりよく)

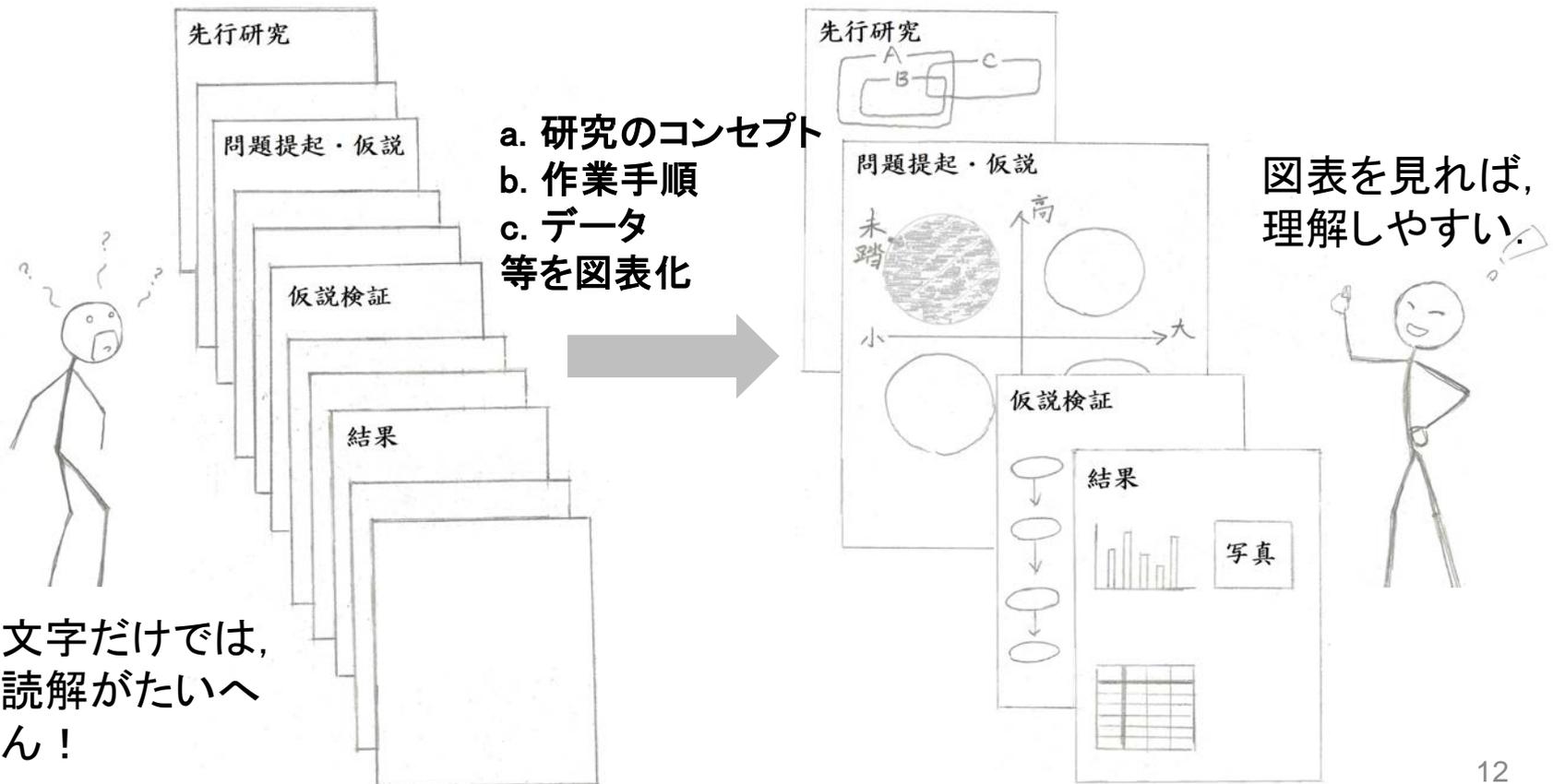
(1) 言い換え

難しい熟語を日常生活で使っている平易な言葉で言い換える。

(2) 図表の積極的活用

a. データは, グラフ, 表, 写真

b. 複雑な概念や手順は, イラストやフロー図



5. 文章構造の分析演習

ツールを使った分析（15分間）

文章作成支援ツールを使って分析的な「読み」を行い、
構造化の概念を理解する。

配布資料 「文章作成支援ツール」 1枚

「学習時におけるBGM使用の影響」（レポートサンプル）

演習のルール：

- 各分析対象文中の単文には、①から番号を割り付けられている。
- 映写する記入例を参考にして単文を文章作成支援ツール赤枠内の該当する行・列に配置する。
- 各行の記入するマスは1つに限る。

文章作成支援ツールへの記入方法

単文ごとに【1】～【4】に分類して，該当する欄に○を記入する

文章作成支援ツール							
段落・文No,		単文の分類					
第○段落	第○文	【1】 「問い」 の設定	場合分 けの有 無	【2】 レポート執筆者の主張， 宣言(目的, 目標, 課題)， 感想, 疑問, 結論(成果)， 憶測	主張の優先 順位 (後で番号を 振ってください)	【3】 根拠： 客観的事実， 既知， 明らかに論理的に正しいこと， 予測・調査結果(明示的なデータ， 文献)， 伝聞(根拠が希薄)	【4】 根拠： 主観的事実 (体験, 経験, 「調 査した」等の実際 の行為, 公知では ないデータ)
	1	○					
	2						○
	3						○
	4						○
	5						○
	6						

文章構造の分析の意義

1. 文章作成支援ツールを使った分析でわかること.

(1) 文章全体の構造

問い, 主張, 根拠の配置 → 階層的になっているか?

(2) 単文レベルの読みやすさ

読み手によって分類(問い, 主張, 根拠)が大きく割れるようなら, もっと明確な文章に修正する.

2. 文書作成支援ツールの本来の使い方

①自分の書いたレポートの下書きを分析する.

②友人数人にレポートの下書きを分析してもらう.

③自分と友人たちの解釈が大きく割れた文章から修正する.



自分自身では読みやすさを判断できないことが多いため
友人一人だけでは解釈が適切なかわからないため.

「青谷横木遺跡の女子群像について」分析結果の集計

段落・文No,		単文の分類			
第○段落	第○文	【1】 「問い」 の設定	【2】 レポート執筆者の主張, 宣言(目的, 目標, 課題), 感想, 疑問, 結論(成果), 憶測	【3】 根拠: 客観的事実, 既知, 明らかに論理的に正しいこと, 予測・調査結果(明示的なデータ, 文献), 伝聞(根拠が希薄)	【4】 根拠: 主観的事実 (体験, 経験, 「調 査した」等の実際 の行為, 公知では ないデータ)
1	1	2	24	21	1
	2	0	3	42	3
	3	0	1	43	4
	4	0	18	25	5
	5	9	36	3	0
	6	0	32	13	3
	7	1	36	9	2
	8	15	31	2	0
	9	1	43	4	0
	10	0	3	40	5
2	11	4	40	4	0
	12	1	23	21	3
	13	0	5	39	4
3	14	2	45	1	0
	15	1	39	8	0

6. 推敲演習

(10分間)

次のStep3配布資料の文中から、分析の解釈が割れた単文を推敲する。

- (1)「青谷横木遺跡の女子群像について」(レポートサンプル)
- (2)「(わたしの紙面批評)選挙・政策報道 若い有権者、政治にいざなう工夫を 村木厚子さん」(社説テキスト版)

文章作成支援ツールによる分析結果(文章全体の構造)も踏まえ、主張あるいは根拠だとはっきり解釈できる文章に修正する。

ワークシートは無いので、ノート等に推敲結果を書く。

3. 推敲演習（10分間）

次の文章を主張あるいは根拠だとはっきり解釈できる文章に修正する。

(1) 「青谷横木遺跡の女子群像について」（レポートサンプル）

鳥取は日本海に面しており、中国や朝鮮半島とも近い距離に位置し、多くの人が日本にやってきていることは、歴史的事実にも則っているため、女子群像に関する文化は多く流れてきていることは確実である。

(2) 「(わたしの紙面批評)選挙・政策報道 若い有権者、政治にいざなう工夫を 村木厚子さん」(社説テキスト版)

この調査は、政党に対してではなく、全候補者を対象に行っているため、主要政策への考え方や内閣への評価などが単なる〇×ではなく、そのニュアンス、程度までよくわかる。

【参考・引用文献】

- 1) 朝日新聞編集委員. 社説 医療改革 とても安心できない. 朝日新聞 . 2006年6月19日
- 2) 村木厚子. (わたしの紙面批評)選挙・政策報道 若い有権者、政治にいざなう工夫を. 朝日新聞記事データベース「オピニオン2」. 2017年11月18日

ご質問などあれば、下記までお気軽にお問い合わせください。

教育センター 桐山 聡

Mail: kiriyama@tottori-u.ac.jp

附属図書館 学術情報係

Mail: ac-gakuju@ml.adm.tottori-u.ac.jp

Tel: 0857-31-5673